

講義名	中国語 B		
科目区分	グローバル		
担当教員	森 宏子		
開講期・曜日・時限	後期 木曜日 3時限		
	2019年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2019年度 人間社会学部 観光学科 / 2019年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2019年度 経済学部 経済情報学科 / 2019年度 経済学部 経済学科 / 2019年度 商学部 マーケティング学科 / 2019年度 商学部 経営学科		
履修開始年次	1年生	単位数	2
		講義コード	43007

主題と概要

この授業では中国語の基礎を学びます。中国語はよく「発音よければ半ばよし」と言われます。発音が命といっても過言ではありません。中国語学習の最初の目標は、正しく発音ができ、聞き取れ、ピンイン（中国語音のローマ字表記）がきちんと読めることです。私たち日本人にとって中国語学習は、漢字を理解できることが大きなメリットですが、逆にデメリットになることもあります。たとえば、漢字を見るとなんとなく中国語を理解した気分になり、発音を大事にしないということがよく見られます。それでは中国語を真にマスターすることはできません。中国語を音でキャッチし、理解できるようになりたいものです。テキストでは基本的に活用度の高い表現を学びます。半年の学習でも、けっこう使える言い回しを学ぶことができます。本学には中国からの留学生がたくさん在籍しており、中国語がいつでも使える恵まれた環境にあります。学んだ中国語をどんどん使って、留学生と積極的に交流してほしいと思います。

到達目標

1. 中国語学習を進めていく上での基礎的知識（発音、ピンイン表記）を身につける
2. 基本的な中国語を聞き、質問や状況に応じた応答ができる
3. 基本的な文の意味を理解でき、書くことができる

提出課題

必要に応じて課題提出を求めることがあります。

評価の基準

次の点を総合的に評価します。
 1. 授業態度 30%
 2. 中間テスト・期末テスト 70%

履修にあたっての注意・助言他

外国語の授業は実践的なものなので活発な取り組みを期待します。授業中の積極的な態度は大いに評価します。最近はスマホを操作している人を見かけられますが、そのような消極的な授業態度は大きなマイナスポイントとなります。教科書を用意しない人は論外です。

教科書

.スタートダッシュ中国語.	水野善寛・伊藤大輔・工藤真 朝日出版社	2300円 + 税	ISBN978 4
	理子・李軼倫		

プリント資料及び参考文献

必要に応じて配布します。

授業計画

1. 発音 単母音・声調・子音・軽声
 2. 発音 複合母音・鼻母音・発音のまとめ
 3. 第1課 空港で挨拶
 4. 第2課 バスで荷物をピックアップ
 5. 第3課 留学手続き後に書店を探す
 6. 第4課 キャンパスで建物の位置を確認
 7. 第5課 カフェで家族の話
 8. 中間試験
 9. 第6課 服を買う
 10. 第7課 電話で友達と約束
 11. 第8課 放課後に待ち合わせ
 12. 第9課 レストランで料理の話
 13. 第10課 北京の気候の話
 14. 第11課 趣味を話す
 15. 第12課 北京駅への生き方
- 授業の進度はクラスの状況に合わせて適宜調整します

予習・復習

外国語学習は積み上げ方式なので、授業内容を毎回しっかり理解しなければ、それ以降の学習に影響します。ちょっとしたつづきが元で、授業がつまらなくなったり、苦痛に感じるようになります。最低限、前回学んだ内容を振り返り、次の授業に臨むことが求められます。特に単語は毎回しっかり覚えていきましょう。

備考